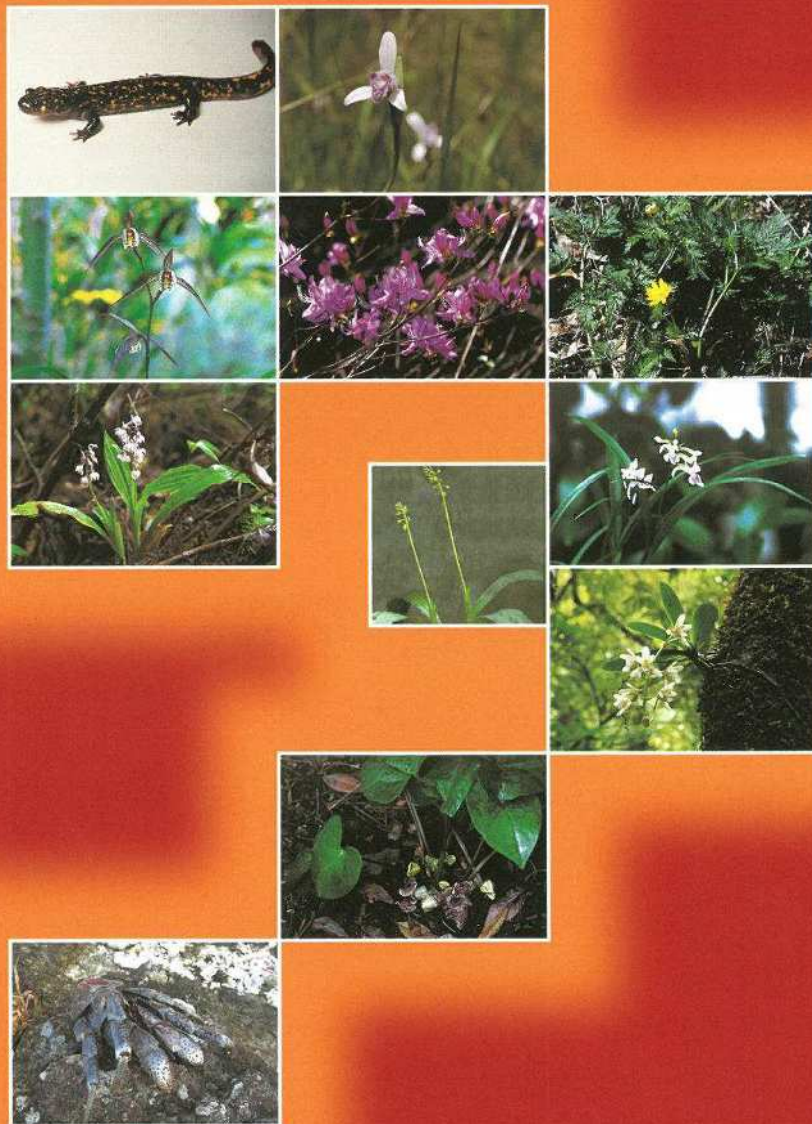


希少野生動植物は 県民みんなの宝です

～鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例及び指定希少野生動植物について～

絶滅の危機から守ろう！



鹿児島県

RED
DATA
ANIMALS

RED
DATA
PLANTS

希少な野生動植物を保護するために……

野生動植物は、人類生存の基盤である生態系の基本的構成要素であり、私たち県民の豊かな生活に欠かすことのできない役割を果たしています。

私たちは、これらの野生動植物を県民共有の財産として次の世代に引き継いでいかなければなりません。

しかしながら、県内では生息・生育環境の悪化や乱獲等により多くの希少野生動植物が絶滅の危機に瀕しています。

「鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物(鹿児島県レッドデータブック2016)」では、県内には絶滅のおそれのある希少野生動植物が約1,400種あることが明らかになっています。

このため、県では県内に生息・生育する希少野生動植物を保護することにより、生物多様性の確保を推進し、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活を確保することを目的として、平成15年3月に「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」を制定し、平成15年12月から施行しています。

この条例では、希少野生動植物の中でも特に保護を図る必要があるもの(乱獲等により、その存続に支障を来すおそれがあるもの等)を「指定希少野生動植物」に指定して、保護を図っています。

また、この条例のほか、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」や「鹿児島県ウミガメ保護条例」等により、県内の希少野生動植物が保護されています。

県内に生息・生育する希少野生動植物の保護に対する県民の皆さんの御理解と御協力をお願いします。

「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」では、県内に生息・生育する希少野生動植物を保護するため、次のような事項を定めています。

- 1 希少野生動植物の保護に努め、良好な自然環境をみんなで保全しましょう。**
- 2 指定希少野生動植物の生きている個体を捕獲、採取することや、違法に捕獲、採取されたものの譲渡、所持等はできません。**
(学術研究などの目的の場合には、捕獲等ができる場合もありますが、あらかじめ知事の許可を受ける必要があります。)
※指定希少野生動植物…希少野生動植物のうち、特に保護を図る必要があるものとして、知事が指定したもの(別表及び写真参照)
- 3 特定希少野生動植物の譲渡しの業務を伴う事業(特定事業)を行う場合については、知事への届出が必要となります。**
(令和6年3月現在指定なし)
※特定希少野生動植物…指定希少野生動植物のうち、商業的にその個体の繁殖をさせることができるものであって、知事が指定したもの
- 4 生息地等保護区の区域内においては、工作物の建築、宅地の造成などの行為を行う場合には、許可や届出が必要となります。**
(令和6年3月現在指定なし)
※生息地等保護区…指定希少野生動植物の個体の生息地又は生育地及びこれらと一体的にその保護を図る必要がある区域として指定されたもの
- 5 条例の規定に違反して、指定希少野生動植物の捕獲、採取等を行うなどの違法行為を行った場合は、罰則が科されます。**
(最高で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金)
- 6 希少野生動植物の保護や普及啓発などを図るため、県内各地に希少野生動植物保護推進員を設置しています。**

RED DATA ANIMALS

動物(18種)

ベッコウサンショウウオ

サンショウウオ科



生息地

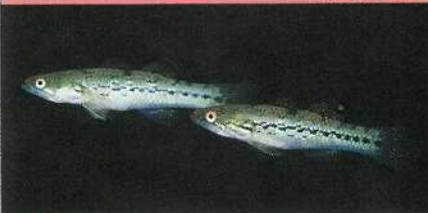
北薩地域、伊佐市

主な特徴

全長は137~155mm、頭胴長は76~85mmほど。背面は黒褐色の地に黄色斑紋があってべっ甲状を呈している。

タメトモハゼ

カワアナゴ科



生息地

種子島、屋久島、奄美大島、徳之島

主な特徴

成魚は250mmほど。体中央に暗色縦列斑があり、体上部に赤色や黄色の斑点が散在する。

ムラクモカノコガイ

アマオブネガイ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長15~25mm、殻表は平滑で螺旋はやや高まる。色彩は変化に富むが、細かい縞模様が多い。

ハジメテピロウドマイマイ

ナンバンマイマイ科



生息地
宇治群島

主な特徴
成貝で殻長一四・四~一七・四mm、殻径一九・〇~二二・六mm。貝殻は球形の円錐形で、臍孔がなく赤褐色。

オキナワトカゲ

トカゲ科



生息地

中之島、沖永良部島、与論島

主な特徴

頭胴長は60~100mm程度。成体のオスは頭部の幅が広く頑丈である。

リュウキュウアユ

アユ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成魚は、150mmほど。背部はオリーブ色で腹部は銀白色、時には2個の黄色斑が胸びれの近くにある。

キバラヨシノボリ

ハゼ科



生息地

奄美大島、徳之島、沖永良部島など

主な特徴

成魚の全長は雄で70mm、雌で60mmほど。クロヨシノボリによく似るが、斑紋が不規則で輪郭がぼやけている。

ヤエヤマヒルギシジミ

シジミ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長90mm、殻高75mm内外。殻は大型のシジミ形。殻皮は黄褐色~褐色で厚い。

ウジグントウマイマイ

オナジマイマイ科



生息地
宇治群島

主な特徴
成貝で殻長一八・一~二二・五mm、殻径五・〇~五・五mmで大型。貝殻は堅固で円錐形。殻色は赤褐色~褐色。

バーバートカゲ

トカゲ科



生息地

奄美大島、徳之島、与論島など

主な特徴

頭胴長は50~70mm程度。本属の種は、幼体の尾が青いのが特徴であり、本種は特に鮮やかである。またメスは成体になってもこの色が残ることが多い。

タナゴモドキ

カワアナゴ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成魚は全長80mmほど。体側にはぼんやりした黒色帯と尾びれ基部に1黒色斑がある。

シマカノコ

アマオブネガイ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長20~30mm。殻表は平滑で光沢があり、細かい黒白の縦縞がある。

クサカキノミギセル

キセルガイ科



生息地
草垣群島

主な特徴
成貝で殻長八・七~一〇・〇mm、殻径二・〇~二・二mm。殻は細長い紡錘形で、殻色は淡赤褐色を呈する。

サキシマヌマエビ

ヌマエビ科



生息地

喜界島、沖永良部島など

主な特徴

体長約20mm。生時には体が透明で、大小さまざまな灰色がかった青色の模様が見られる。



ヤシガニ

オカヤドカリ科

生息地

奄美大島、徳之島など

主な特徴

甲長120mmになる大型種で、世界最大の陸生甲殻類。

海岸に近い陸上部に生息しているが、生息数は非常に少ない。



リュウキュウサワガニ

サワガニ科

生息地

奄美大島、徳之島

主な特徴

甲幅20mm前後で、小型。河川上流域に生息し、水中の石の下や河床に穴を掘って棲んでおり、陸上に出ることは極めて少ない。



ヒメオカガニ

オカガニ科

生息地

種子島、徳之島

主な特徴

甲長23mm、甲幅26mm程度の小型種。海岸近くの湿潤な陸地や枯れ葉の堆積しているところに生息している。



ドウクツベンケイガニ

ベンケイガニ科

生息地

徳之島、沖永良部島、与論島

主な特徴

大甲幅20mm前後。

内部に地下水域が存在する石灰岩洞窟の陸域に生息する。

RED DATA PLANTS 植物(37種)



ヤクシマアオイ

ウマノスズクサ科

生育地

屋久島

主な特徴

常緑の多年草。大形のカンアオイ類。花は春に開花する。



ミヤビカンアオイ

ウマノスズクサ科

生育地

奄美大島

主な特徴

小型の常緑草本。一、二枚の葉を根生し、葉は卵形。

一枚の葉を根生し、葉は



ミチノクフクジュソウ

キンポウゲ科

生育地

霧島市、湧水町

主な特徴

春緑の多年草。春を告げる代表的な花の一つ。



ハツシマカンアオイ

ウマノスズクサ科

生育地

徳之島

主な特徴

常緑多年草。花柄が長い。



アマミアセビ

ツツジ科

生育地

奄美大島

主な特徴

常緑の低木。葉が鈍頭花が大きいのが特徴。



アマミセイシカ

ツツジ科

生育地

奄美大島

主な特徴

常緑の小高木。薄桃を帯びた白い花が咲く。



ウケユリ

ユリ科

生育地

奄美大島

主な特徴

常緑の多年草。明るい林内や岩場に生育する。



シコウラン

ラン科

生育地

奄美大島、徳之島

主な特徴

常緑ラン。岩上や樹上に着生する。



イワザクラ

サクラソウ科

生育地

伊佐市

主な特徴

山地の石灰岩の岩場に見られる多年草。紅紫色の花をつける。



イワギリソウ

イワタバコ科

生育地

南さつま市

主な特徴

陰地の岩壁に着生する多年草。葉は短く葉が束生する。

ヤマシャクヤク ボタン科



生育地
伊佐市

主な特徴
夏緑広葉樹林の林床に生える多年草。石灰岩地に好んで生える傾向がある。

アキザキナギラン ラン科



生育地
屋久島、奄美大島など

主な特徴
常緑の地生ラン。暖温帯の常緑広葉樹林下に生える。

ハヤトミツバツツジ ツツジ科



生育地
いちき串木野市、薩摩川内市、鹿屋市など

主な特徴
落葉の低木。明るい岩場に生育する。

ヒナラン ラン科



生育地
いちき串木野市、南さつま市

主な特徴
夏緑の地生ラン。岩壁に生育する。

キリシマエビネ ラン科



生育地
甌島、出水市、伊佐市、いちき串木野市、南さつま市、屋久島など

主な特徴
常緑の地生ラン。林床に生え、葉柄は比較的最長い。

テンノウメ バラ科



生育地
トカラ列島、奄美大島、喜界島など

主な特徴
常緑の低木。海岸の岩場に生育する。

サツマチドリ ラン科



生育地
甌島

主な特徴
夏緑の地生ラン。陽地のやや乾燥する岩場に生育する。

アマミエビネ ラン科



生育地
奄美大島

主な特徴
常緑の地生ラン。花は白色か淡紅色。

シシンラン イワタバコ科



生育地
伊佐市、霧島市、鹿屋市など

主な特徴
常緑のやや多肉な草本。樹上に着生する。

クスクスラン ラン科



生育地
奄美大島

主な特徴
常緑ラン。老木の樹上に着生する。

レンギョウエビネ ラン科



生育地
種子島、屋久島、奄美大島など

主な特徴
常緑の地生ラン。黄色の小さな花が下向きにたくさん咲く。

オナガエビネ ラン科



生育地
甌島、種子島、徳之島、沖永良部島など

主な特徴
常緑の地生ラン。花は距部が長い。

サギソウ ラン科



生育地
薩摩川内市、伊佐市、鹿屋市など

主な特徴
夏緑の地生ラン。名称の由来は花の姿から。湿地に生育する。

カクチョウラン ラン科



生育地
種子島、屋久島、トカラ列島など

主な特徴
常緑の地生ラン。日当たりのよい草原に咲く。

クマガイソウ ラン科



生育地
南さつま市、指宿市、垂水市、南大隅町

主な特徴
地生ラン。樹林下、特に杉林や竹林下に群生する。茎は高さ10〜40cmになり、大型の花を付ける。

サルメンエビネ

ラン科 生育地
伊佐市、霧島市、鹿屋市

主な特徴
地生ラン。和名は、唇弁が赤みをおびてしわが寄っているのを猿の顔に見立てたもの。



サクラジマエビネ

ラン科 生育地
鹿児島、南九州市、鹿児島市など

主な特徴
常緑の地生ラン。林床に生え、花びらは緑色。



フウラン

ラン科 生育地
鹿児島、肝付町、屋久島、奄美大島など

主な特徴
常緑の着生ラン。樹幹に着生。葉は10cm程度で厚い。



ナゴラン

ラン科 生育地
鹿児島市、南大隅町、トカラ列島、奄美大島、徳之島など

主な特徴
常緑の着生ラン。樹幹に着生する。



ヘツカラン

ラン科 生育地
南さつま市、指宿市、錦江町、南大隅町

主な特徴
常緑の着生ラン。老木の樹上に着生し、花穂が垂れ下がるのが特徴。



ウチョウラン

ラン科 生育地
出水市、霧島市、鹿屋市、肝付町など

主な特徴
夏緑の地生・着生ラン。岩場などに生え、紅紫色の数を一方に傾いてつける。



カンラン

ラン科 生育地
伊佐市、鹿児島、屋久島、奄美大島など

主な特徴
常緑の地生ラン。花は三枚の萼片と三枚の花弁からなる。



ガンゼキラン

ラン科 生育地
薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、肝付町など

主な特徴
常緑の地生ラン。やや湿った林床や林縁に生え、黄色の花を縦上につける。



トキノソウ

ラン科 生育地
伊佐市

主な特徴
湿地性の地生ラン。花は美しい紅紫色で、晩春から初夏にかけて開花する。



キバナノセッコク

ラン科 生育地
鹿児島市、南さつま市、鹿屋市、垂水市、南大隅町、種子島、屋久島、奄美大島など

主な特徴
常緑の着生ラン。常緑林内の樹幹や岩上に着生する。



ヒメウラジロ

イノモトソウ科 生息地
霧島市、長島町、種子島など

主な特徴
常緑のシダ類。日が当たる山地や路傍の石垣の間に生育する。



オキナグサ

キノボウグサ科 生息地
湧水町

主な特徴
夏緑の多年草。草原や道路沿いに生育する。



希少野生動植物保護の関連法令等

(令和6年3月現在)

国内希少種 (442種)	希少野生動植物保護条例 [県]	希少野生動植物保護条例 [市町村]	鳥獣保護管理法	県ウミガメ保護条例	文化財保護法	県文化財保護条例
	県指定希少野生動植物 (55種)	奄美大島5市町村 指定希少野生動植物(56種)				
	県特定希少野生動植物 (指定なし)					

県条例指定希少野生動植物一覧

(令和6年3月現在55種)

■動物(18種)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
爬虫類	オキナワトカゲ	<i>Plestiodon marginatus</i>	トカゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
爬虫類	バーバートカゲ	<i>Plestiodon barbouri</i>	トカゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
両生類	ベッコウサンショウウオ	<i>Hynobius stejnegeri</i>	サンショウウオ科	絶滅危惧Ⅱ類
魚類	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	アユ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	タナゴモドキ	<i>Hypseleotris cyprinoides</i>	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	タメトモハゼ	<i>Ophieleotris sp.</i>	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	キバラヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ハゼ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	シマカノコ	<i>Neritina turrata</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ムラクモカノコガイ	<i>Neritina (Vittoida) variegata</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ヤエヤマヒルギシジミ	<i>Gelonina reosa</i>	シジミ科	絶滅危惧Ⅰ類
貝類	クサキノミギセル	<i>Hemizaptyx kusakakiensis</i>	キセルガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ハジメテビロウドマイマイ	<i>Neochloritis tomiyamai</i>	ナンバンマイマイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ウジグントウマイマイ	<i>Euhadra tokarainsula ujiensis</i>	オナジマイマイ科	絶滅危惧Ⅱ類
甲殻類	サキシマヌマエビ	<i>Caridina sakishimensis</i>	ヌマエビ科	絶滅危惧Ⅱ類
甲殻類	ヤシガニ	<i>Birgus latro</i>	オカヤドカリ科	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	リュウキュウサワガニ	<i>Geothelphusa obtusipes</i>	サワガニ科	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	ヒメオカガニ	<i>Epigrapsus notatus</i>	オカガニ科	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	ドウクツベンケイガニ	<i>Karstarma boholano</i>	ベンケイガニ科	—

■植物(37種)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
植物	ミヤビカンアオイ	<i>Heterotropa celsa</i>	ウmanosズクサ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ハツシマカンアオイ	<i>Heterotropa hatsushimae</i>	ウmanosズクサ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ヤクシマアオイ	<i>Heterotropa yakusimensis</i>	ウmanosズクサ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ミチノクフクジュソウ	<i>Adonis multiflora</i>	キンボウゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	アマミアセビ	<i>Pieris amamioshimensis</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アマミセイシカ	<i>Rhododendron amamiense</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ハヤトミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum var. satumense</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	テンノウメ	<i>Osteomeles anthyllidifolia</i>	バラ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	シシラン	<i>Lysionotus pauciflorus</i>	イワタバコ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	イワギリソウ	<i>Ophithandra primuloides</i>	イワタバコ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ヤマシャクヤク	<i>Paonia japonica</i>	ボタン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	イワザクラ	<i>Primula tosaensis</i>	サクラソウ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ウケユリ	<i>Lilium alexandrae</i>	ユリ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ヒナラン	<i>Amitostigma gracile</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サツマチドリ	<i>Amitostigma kurokamianum var. micropunctata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	クスクスラン	<i>Bulbophyllum affine</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	シコウラン	<i>Bulbophyllum macraei</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	キリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アマミエビネ	<i>Calanthe aristulifera var. amamiana</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	レンギョウエビネ	<i>Calanthe lyroglossa</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	オナガエビネ	<i>Calanthe masuca</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サクラジマエビネ	<i>Calanthe oblanceolata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ハツカラン	<i>Cymbidium dayanum var. austro-japonicum</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	カンラン	<i>Cymbidium kanran</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サギソウ	<i>Habenaria radiata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	フウラン	<i>Neofinetia falcata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ウチョウラン	<i>Orchis graminifolia</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	カクチョウラン	<i>Phaius tancarvilleae</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	トキシソウ	<i>Pogonia japonica</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アキザキナギラン	<i>Cymbidium javanicum var. aspidistrifolium</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	キバナノセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ヒメウラジロ	<i>Cheilanthes argentea</i>	イノモトソウ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>	キンボウゲ科	絶滅危惧Ⅰ類

■奄美大島5市町村及び徳之島3町の希少野生動植物の保護に関する条例で、捕獲・採取等が禁止されている種
(奄美大島5市町村指定 56種、徳之島3町指定 31種)

(令和6年3月現在)

分類	種名(和名)	科名	奄美大島 5市町村	徳之島 3町
両生類	アマミハナサキガエル	アカガエル科	○	
魚類	ヨロイボウズハゼ	ハゼ科	○	
魚類	ルリボウズハゼ	ハゼ科	○	
昆虫類	アマキンモンフタオタマムシ	タマムシ科	○	
昆虫類	ヒメフチトリゲンゴロウ	ゲンゴロウ科	○	○
昆虫類	フェリエベニボシカミキリ	カミキリムシ科	○	
昆虫類	ヨツオビハレギカミキリ	カミキリムシ科	○	
昆虫類	アマミマルバネクワガタ	クワガタムシ科	○	○
昆虫類	アマミシカクワガタ	クワガタムシ科	○	○
昆虫類	アマミミヤマクワガタ	クワガタムシ科	○	
昆虫類	ヤマトサビクワガタ	クワガタムシ科		○
昆虫類	マルダイコクコガネ	コガネムシ科	○	○
昆虫類	ハネナガチョウトンボ	トンボ科	○	
昆虫類	アマミナガゴミムシ	オサムシ科	○	
貝類	ネニヤダマシギセル	キセルガイ科	○	
貝類	ミドリシャミセンガイ	シャミセンガイ科	○	
甲殻類	オカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	ムラサキオカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	ナキオカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	リュウキュウシオマネキ	スナガニ科	○	
甲殻類	ヤエヤマシオマネキ	スナガニ科	○	
甲殻類	ルリマダラシオマネキ	スナガニ科	○	
植物	サガリラン	ラン科	○	
植物	ケイタオフウラン	ラン科	○	
植物	キバナノセッコク	ラン科	○	
植物	ヒメシラヒゲラン	ラン科	○	
植物	ダイサギソウ	ラン科	○	○
植物	タイワンショウキラン	ラン科	○	○
植物	ヤクシマネッタイルン	ラン科	○	○
植物	ナギラン	ラン科	○	○
植物	チケイラン	ラン科	○	○
植物	ヒメトケンラン	ラン科	○	○
植物	アコウネッタイルン	ラン科		○
植物	オオナギラン	ラン科		○
植物	トクノシマエビネ	ラン科		○
植物	トクノシマカンアオイ	ラン科		○

分類	種名(和名)	科名	奄美大島 5市町村	徳之島 3町
植物	ナンバンキンギンソウ	ラン科		○
植物	トリガミネカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	グスクカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	カケロマカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	フジノカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	オオバカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	○
植物	ナゼカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	アサトカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植物	タニムランカンアオイ	ウマノスズクサ科		○
植物	リュウキュウヒモラン	ヒカゲノカズラ科	○	○
植物	ヨウラクヒバ	ヒカゲノカズラ科	○	
植物	リュウキュウスズカケ	ゴマノハグサ科	○	
植物	ハマトラノオ	ゴマノハグサ科	○	○
植物	アマミアオネカズラ	ウラボシ科	○	○
植物	アマミイワウチワ	イワウメ科	○	
植物	アマミテンナンショウ	サタイモ科	○	○
植物	オオアマミテンナンショウ	サタイモ科		○
植物	トクノシマテンナンショウ	サタイモ科		○
植物	ハマジンチョウ	ハマジンチョウ科	○	
植物	モダマ	マメ科	○	
植物	アマミクサアジサイ	ユキノシタ科	○	
植物	アマミスミレ	スミレ科	○	
植物	コショウジョウバカマ	ユリ科	○	○
植物	オオシロショウジョウバカマ	ユリ科		○
植物	アマミアワゴケ	アカネ科	○	
植物	ヒメミヤマコナスビ	サクラソウ科	○	
植物	アマミカタバミ	カタバミ科	○	
植物	アツイタ	ツルキジノオ科	○	○
植物	アマミナツトウダイ	トウダイグサ科	○	
植物	アマミマツバボタン	スベリヒユ科	○	
植物	コモチナナバケシダ	ナナバケシダ科		○
植物	タイワンアmaksシダ	イノモトソウ科		○
植物	ヒメスイカズラ	スイカズラ科		○
植物	ホウザンツツラフジ	ツツラフジ科		○
計			56	31

編集・発行/鹿児島県環境林務部自然保護課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 電話 099-286-2616(直通)
写真協力/大工園 認・山下 弘・佐藤 寛之・常田 守・丸野 勝敏・環境省奄美群島国立公園管理事務所・片野田 逸朗・鈴木 廣志
藤田喜久・田金秀一郎
発行日/令和6年3月

鹿児島県の希少野生動植物の詳細について、以下のホームページで御覧いただけます。

<http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/zyorei/03007006.html>

